

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	2 良好な水と緑の環境を創出する	施策名	③ 緑の保全・育成
------	--------------------	----------------	------------------	-----	-----------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆「緑の基本計画」を改定し、平成34年までの本市における「緑の保全・育成」の方向性や「緑の目標水準」を設定し、様々な施策・事業を展開している。 ◆緑地・樹林地等の保全を図るため、都市緑地の公有地化や、市民・ボランティア・団体等の参加・協力を得ながら、緑地の保全活動を展開している。 ◆都市緑化活動を推進するため、市民協働による都市緑化事業の展開や緑に関するイベントや講座等の開催、樹木・花苗の配布等による民有地の緑化推進に取り組んでいる。 ◆市民や事業者が主体となって緑に係わり、人と緑が調和するまちの実現を図るため、「財団法人グリーントラストうつのみや」や「宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会」の支援に取り組んでいる。	◆市民主体による緑地保全活動を展開する「財団法人グリーントラストうつのみや」への参加人数は、近年の記録的な猛暑やゲリラ豪雨の影響等により目標値の達成に至っていないが、無償のボランティア活動である緑地保全に対して、毎年、千人単位での参加実績を有しており、市民協働による施策の展開として一定の成果を挙げている。 ⇒ 平成24年度末の見通しについては、東日本大震災の影響等から、緑地保全活動参加人数は、現状維持となることが想定される。	61.7%	(財)グリーントラストうつのみや緑地保全活動参加人数	人	/	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	61.7%
					2,821	2,125	1,779	2,036	2,158		
課題	◆施策指標等である緑地保全活動への参加者数の増加を目指す必要がある。 ◆緑地・樹林地等の保全については、市域内に残る里山・樹林地等の緑地の大半が民有地であることから、土地利用に関する権利等が制限されるため、土地所有者のさらなる理解を求めていく必要がある。 ◆都市緑化活動のさらなる推進が求められているが、まちなかの緑については、設置箇所や水遣り等の維持管理の面で地域住民や事業者の協力が不可欠であることから、市民の緑化意識のさらなる醸成が必要である。				/						
			市民意識調査(重要度・満足度)		重要度	77.5	76.4	76.5	79.4		%
			満足度	34.6	38.0	34.1	38.4		%		

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
緑地・樹林地等の保全		→	◆都市緑地である戸祭山緑地の一部について、平成23年度末に供用開始を行うことができた。また、「財団法人グリーントラストうつのみや」を活用し、市民やボランティアの協力を得ながら、民有地も含む市域内に残る里山・樹林地の保全に継続して取り組んでいる。 ⇒ 都市緑地の段階的な用地取得に適宜努めながら、今後も継続して里山・樹林地の保全に取り組んでいく。	◆市域に残された里山・樹林地等の緑の大半を占める民有地緑地において、公有地化以外の手法も含めた保全の取組を検討する必要がある。 ◆「財団法人グリーントラストうつのみや」と連携して保全に取り組んでいる民有地の里山・樹林地について、今後も継続して保全が図られるよう、土地所有者の理解に努めていく。
都市緑化活動の推進		→	◆平成18年度から地域住民やボランティアとの協働による中心市街地における緑化事業の継続的な実施や、平成20年度から「樹林地の再生」をテーマに市民参加型の植樹活動を展開している。また、市主催の緑化ボランティア養成講座や、「宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会」等との協力による緑に関するイベント・講座を開催している。 ⇒ 今後も、都市緑化の推進や市民の緑化意識の啓発・向上に取り組んでいく。	◆近年の市民アンケート結果から、中心市街地における緑の確保が特に重要視されている。 ◆都市部での緑の創出が求められているなかで、維持管理を担うボランティアの育成や、緑化ボランティアとして認定された市民の活動場所の提供に努めることで、市民主体の緑化活動を積極的に展開していく必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度（A～C） ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
1	都市緑地の保全	市民	H元	用地取得面積（累計）	ha	21.4	21.4	25.0	25.0	25.2	A	継続	将来にわたり貴重な自然環境を守り引継ぐため、段階的な用地取得に努めるとともに、緑地保全活動・環境学習の場としての活用方針を明確にし、今後の樹林地管理の進め方や管理運営体制について検討する。 特に、戸祭山緑地においては、旧斎場跡地を含めた樹林地復元計画の見直しを行い、旧斎場建設以前の良好な樹林地復元に向けた緑地整備を円滑に進める。
				用地取得面積（単年度）	ha	0.0	0.0	3.6	0.0	0.2			
2	都市緑化の推進	市民	S60	出生・住宅新築記念樹贈呈事業樹木本数	本	4,400	4,400	4,400	4,400	3,200	A	継続	活動指標については、概ね目標を達成しており、中心市街地に花苗ハンギングバスケットを設置する事業や、出生・住宅新築記念樹贈呈など大変有効な事業を展開しているが、さらに市民への緑化意識の向上・民有地の緑化を推進するため、緑化誘導策など新たな都市緑化の施策や事業、仕組みづくりを検討する必要がある。
						4,878	4,020	3,797	4,619				
3	里山・樹林地の保全	市民	H16	長岡樹林地保全活動実施回数	回	80	80	80	80	80	A	継続	残された里山・樹林地の保全にあたり、風致地区制度等の運用や、国・県の助成措置の活用を図るとともに、都市緑地法に基づく法的な担保についても検討を続ける。 また、モデル地区である長岡樹林地については、今後も継続して緑地保全活動が展開されるよう、「財団法人グリーントラストうつのみや」と積極的に連携していく。
				長岡樹林地保全活動参加人数	人	1,000	1,000	800	800	800			
4	(財)グリーントラストうつのみや運動促進費補助金	(財)グリーントラストうつのみや	H3	グリーントラスト会員数	人	1,800	1,800	1,700	1,700	1,700	B	継続	財団が中心となって実施する、残された貴重な里山・樹林地等の身近な緑の保全活動や、自然の大切さについて市民の理解と関心を深め、協力を得るため、行政として適切な支援・助言を行い、グリーントラスト運動のさらなる促進に取組む。
				自然観察会等への一般参加者数	人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000			
5	宇都宮市 花と緑のまちづくり推進協議会補助金	協議会	H13	普及啓発を目的とした研修会参加者数	人	100	100	100	100	100	B	継続	市民主体の都市緑化活動を推進するため、市民が事業に参加しやすい環境を整えるとともに、会員が主体となって協議会活動のPRを積極的に行い、会員数や研修会参加者数の増加を図り、市民の緑化意識の高揚を促進する。
				緑化活動を実践するために新たに加入した会員数	人	20	20	20	20	20			
6	宇都宮市 花と緑のフェスティバルうつのみや交付金	協議会	H14	来場者数	人	5,500	5,500	5,500	5,500	10,000	B	継続	緑の基本計画のリーディングプロジェクトに掲げられている中心市街地の重点的緑化を進めるために、中心市街地の緑化事業と連携しながら、より魅力的に内容を工夫することで、市民一人ひとりの緑に対する意識の向上に努め都市緑化を推進していく。
						5,200	6,000	4,500	11,000				
7	緑の相談所の運営	市民・団体・事業者	S56	緑化講習会受講者数	人	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	C	継続	市民の緑化活動の支援及び人材育成の拠点として、市民の緑に関する多種多様なニーズに対応するため、講習内容と緑地の保全や自然環境に関する情報発信、地域と連携した自然観察など、相談所機能の充実を図るとともに、更なる事業の効果促進を検討していく。
				緑化相談件数	件	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750			
8	とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業	市民・事業者・行政	H20	森林整備箇所	ha	2.37	1.34	0.00	0.00	0.00	C	継続	市域に残る貴重な緑の保全と、市民が身近に緑と触れ合うことのできる環境の維持のため、事業の計画的で円滑な進捗を図る。 また、土地所有者からの理解や管理活動の役割を担う団体等の協力を得ながら、新たな都市緑地や民有地の緑に対して当事業の活用を検討する。
				森林管理箇所	ha	0.00	2.37	3.71	3.71	3.71			
						0.00	2.37	3.71	3.71				